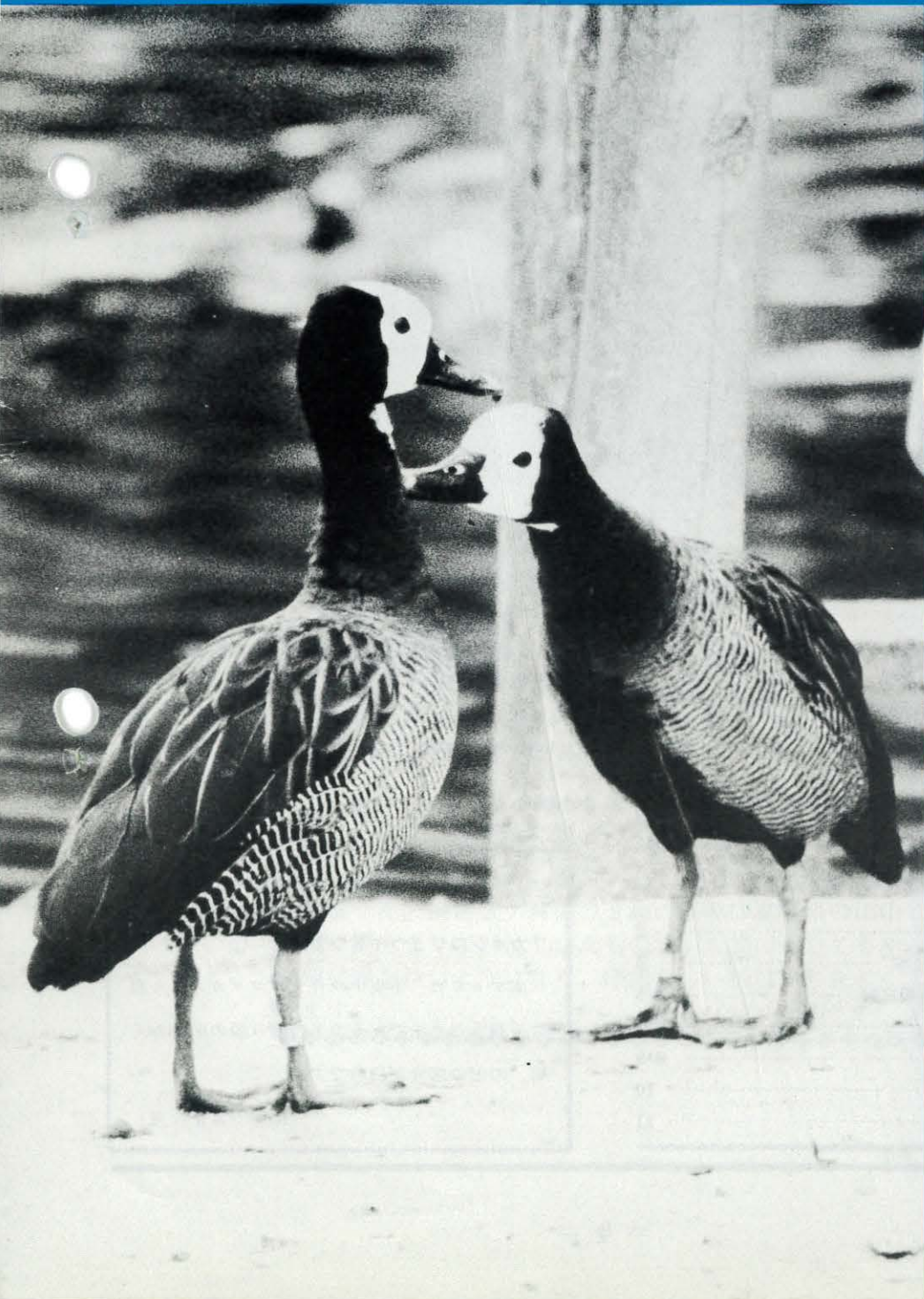


なきごえ



1979

5

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

成田 一 豊



取材で、天王寺動物園に足を運ぶようになって驚いたことがある。入園者の心ないいたずらで、病気やけがをする動物たちが実に多いのだ。背中にタバコの火を押しつけられて火

傷したヒツジ、投げこまれた針が脚に刺さってびっこをひくゾウ、菓子のビニール袋を食べ、胃がつかまって死んでいくダマシカ……。数えあげればきりが無い。

知らない国を旅行したら、まず、動物園を見物しろ、という政治学者の話聞いたことがある。動物園の環境や動物たちの生活状態を見ることで、その国が動物園を大事にしているかがわかり、国民性や知的レベル、国力まで見定められる、というのだ。そんな目で天王寺をはじめ日本の動物園を見ると、悲観的にすらなる。いったい、入園者のいたずらで動物たちが次々、死に、おりの前に「ゴリラを殺さないで」と掲示してあるところが、動物園といえるだろうか。

動物園ばかりではない。最近、私たちの新聞で取りあげたニュースでも、脚をたこ糸でくくられ、電線に宙づりになったハト、締め殺されたアヒルが公園の池に捨てられるなど、信じられない動物虐待行為が次々と起きている。

どうして、人間は仲間であり、友達であるはずの動物たちに思いやりの心をなくし、やりたい放題にふるまっているのだろうか。子供のころを振り返ってみると、当時はまだ、家の回りには自然が豊富に残

っていた。庭先でイヌやニワトリを飼い、森でアブラゼミやカブトムシを追った。こんなペットや昆虫に囲まれた生活の中で、少しずつ生命の尊さや死の残酷さを学んだような気がする。

小学二年の時には、こんな思い出もある。自宅近くにヤギを飼っている農家があった。私も妹も体が弱く、このヤギの乳を飲んで育ったのだが、ある日、私はくいつながれているヤギを棒切れでつついたり、ゴムのパチンコを飛ばしたりして、いじめていた。それを見た通りがかりのおじさんが、いきなり私から棒切れを取りあげ、尻をなぐってきた。「痛いだろう。ヤギだって痛いんだぞ」見も知らぬ人からなぐられ、私は大声をあげて泣いた。だが、その時私は「動物にも生命があり、感覚があるのだ」と悟ったような気がする。

今、都会では動物とじっくり接する機会がなくなった。子供がイヌに近寄っただけで「だめ。こわいわよ」と、叱る母親すら見かける。子供は成長の過程で、一度は動物好きの時期を通り過ぎる。その大切な時期に動物と付き合い合えなければ、動物を愛し、尊ぶ気持ちが育たないのは当然かも知れない。動物園やテレビでしか動物を知らない都会の人間にとって、動物は恐しく不快なものであり、昆虫にいたってはつまらないだけの存在になっている。だから、あんな残酷なはずらができるのだろう。いたずらの結果、の重大性や動物たちの苦しみに、心の痛みを感じない人間が増えているのだ。

私たちの新聞では、現在、「ゆうかん動物園」という連載を続けている。こんな風潮を少しでも変え、思いあがった人間と動物の間の友情を、もう一度取り戻したいと願って筆を握っている。

(読売新聞社会部記者)

なきごえ5月号もくじ

動物と私	2
“保護された2頭の仔熊”	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
動物園生活27年	6・7
天王寺の動物たち	8・9
キーパーズ・アイ	10
動物園ニュース	11

なきごえ5月号もくじ

「カオジロリュウキュウガモ」
 南アメリカ、中央アフリカ、マダガスカル島に分布するカモで、その名の通り頭の前部から頬、のどの部分が白色です。

(撮影：宮下 実)



“保護された2頭の仔熊”

4月11日に2頭のニホンツキノワグマの仔が保護されて来ました。推定2ヶ月位の2頭の仔熊は滋賀県の山中で母親に置き去りにされていたもので、人間に対してもやっとな親愛感を持つようになり、仔熊らしい腕白ぶりを示しています。

(撮影：宮下 実)

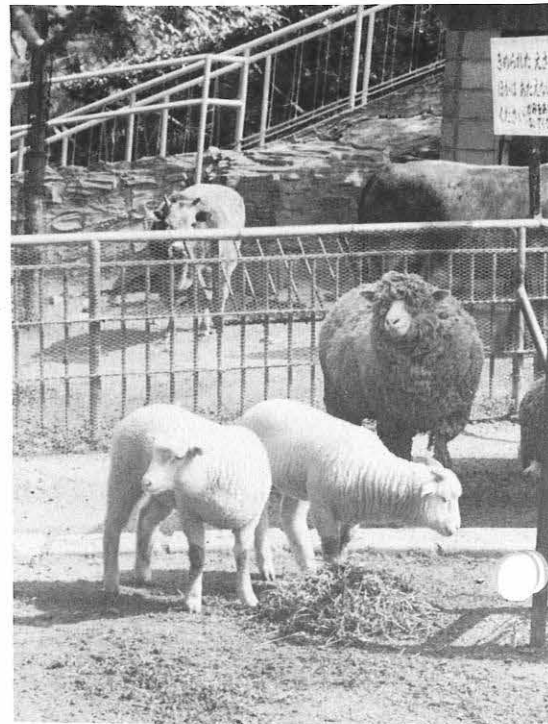
動物園グラフ

「われら赤ちゃん！元気一杯!!」

春は動物の出産シーズンです。今回はこの春に生まれた動物の赤ちゃんをグラフで特集してみました。
(撮影：宮下 実)



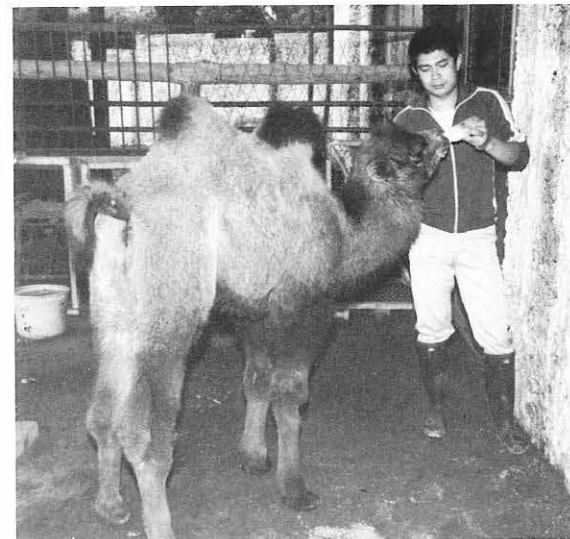
ヤギ
2月25日に四子が生まれ出産ラッシュ開始、3月3日までに11頭も生まれました。



メンヨウ
2月23日に2頭生まれたのをかわきりに3月10日までに計5頭生まれました。



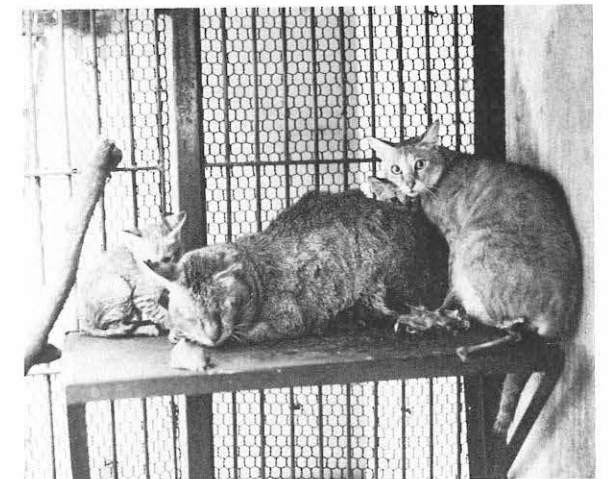
バーバリーシープ
3月13日、14日、22日と計5頭生まれました。急な岩登りもへいちゃらです。



フタコブラクダ
3月3日生まれ。
人工哺育で順調に育っています。



コヨーテ
3月7日に5頭生まれました。
当園では3度目のおめでたです。



ジャングルキャット
2月7日生まれ。
3頭生まれましたが惜しくも1頭死亡しました。残る2頭は元気一杯で育っています。



アライグマ
3月12日2頭誕生。
母親のロージーは人工哺育で育ったものですが、じょうずに赤ちゃんを育てています。

3・4月の動物園日記

- 3/19. タンチヨウの過長嘴を整形して、うまく餌が食べられるように治してあげました。
- 23. コンドルが産卵したので、大喜びしたのですが、その後破卵しました。
- 28. マントヒビが出産しましたが、残念なことに、逆子で窒息死しました。
- 4/1. 8日に行なわれる大阪市会、府会、知事選挙のキャンペーンのため、当園のオランウータン、ヤギ、メンヨウがステージで投票

- をしました。
- 5. ブタに回虫の駆虫薬を飲ませました。
- 6. オスのバーバリーシープ4頭が、出園しました。
- 10. 3月に生まれたコヨーテの仔5頭にジステンパー、肝炎の2種混合ワクチンの接種をしました。
- 11. 滋賀県の山で保護された生後2~3ヶ月のツキノワグマ2頭を当園で引きとることにしました。体重は1800gで、オスはゴローちゃん、メスはタエちゃんといいます。

- 13. スプリングボックの右膝蓋骨の脱臼が発見されたので、トーマスプリント固定をしました。
- 14. ゴールデンキャットのオスが膀胱腫瘍で死亡しました。
- 16. ベイサオリックスの後頭部がたんこぶのように腫脹してきたので、試験的穿刺をして排膿してやりました。
- 17. モウコレイヨウのオスが角をひっかけて折ってしまいました。これでオスは左右とも角がなくなっていました。

- 20. シロカケイが死亡したので解剖してみると腹腔内にかびがつまっていた、ペギンによく見られるアスペルギルス症でした。
- 21. マカロニペンギンが産卵しました。
- 24. ニホンザルが本年初めての仔を出産しました。
- 29. 春の動物園まつりが今日から始まりました。

動物園生活27年 (下)

昭和45年5月に大阪千里にて、万国博覧会が開会され、世界各国の多くの人々が大阪にやってきました。万国博覧会会場には、各国のパビリオンに、民族ゆたかな色どりをそえ、毎日毎日盛況で人の波、その各国のパビリオンの中で、インド館ではホワイトタイガー、エチオピア館ではアビシニアライオン、タイからは多数のインドゾウ、他にも色々の動物の展示もみられ、人気を呼んでいました。この開催中及び閉会后に、展示された動物の一部が各国の温かい心こもった贈りものとして、当天王寺動物園によせられました。

フィリピン政府から、パラワンリス2頭、パラワンヤマアラシ2頭、アフリカのタンザニア政府よ



り、チーター2頭、インド政府より子ゾウ、(万博にちなんでラニー博子と名づけられました)1頭、アメリカ政府から、プレリドッグ10頭、ニュージーランドからは日本で初めてお目見得した、キーウィ2羽、エチオピアからはアビシニアライオン2頭、オーストラリア政府より、ハイイロカンガルー5頭、総数8種26点が大搬入園して来ました。その中でもニュージーランドより贈られたキーウィは、日本国



内でただ当園のみだけで大変珍しい鳥でした。天皇陛下が万国博覧会をご覧になられた時に、大阪市天王寺動物園に入園したキーウィを一度ご覧になりたいとの事で宮内省より通達があり、当時の和田辰巳園長と中川飼育係長が陛下の御宿泊のロイヤルホテルにキーウィを持参いたしました。このキーウィにニュージーランドとランドちゃんと言われ、担当の磯田啓子さんのこの鳥に対する仕事ぶりは熱心で、わが子のように可愛いがって育ててきました。メスのランドちゃんは肺にカビがはえるアスペルギルス症で惜しくも死亡しましたが、オスのニージ君は元気一杯に育ち、この7月で満9年を迎えようとしています。このニュージー君に花嫁を迎えようとニュージーランドの政府に希望を申し入れたのですが、残念ながら未だ実現に至っておりません。



この万国博覧会にちなんで当園でもこの年の3月から5月にかけて、「オモチャの動物園長」で知られる吉田平七郎先生のコレクションの中からよりすぐった「万国動物オモチャ展」を開催したのも記念に残る思い出です。

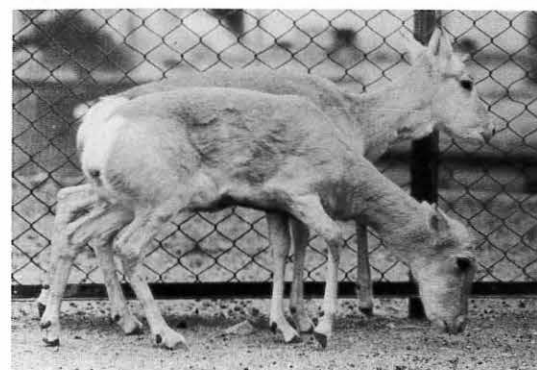
その後、ハイイロカンガルーの出産、ゾウのラニ



一博子の病気……いろいろありましたが特にラニー博子の病気は大変でした。下痢が続き、毎日徹夜の看病に獣医及び担当係員の心血を注ぐ日が続きました。担当の三浦正明さんの心配ぶりは病気が回復するまで大変なものでした。その後病気もせず、現在10才で元気です。アビシニアライオンも2年後、第二世を出産しました。

昭和47年4月に和田園長が退職され、第4代目に中川現園長が就任され、私も飼育係長として、大島市長より拝命、動物園の運営管理の責務の重大性をひしひしと感じさせられ、2年間は無我夢中でした。

昭和49年8月に日中親善として、北京動物園との動物交換が成立し、北京動物園より、タンチョウ雌



1羽、モウコレイヨウ1番いが贈られてきました。当園からはアカカンガルー1番いとコンゴウインコ2番いを贈りました。それに引き続き、上海市との友好都市提携も成立し、上海市西郊公園と当園との動物交換第一弾として、クロオオカミ1番いとマナヅル1番いを頂き、カルフォニアアシカ1番いとフンボルトペンギン2番いを贈りました。第2弾としてはベニジュケイ2番いとチンパンジー1番いの交換、第3弾として、上海市西郊公園より、園長の趙沛氏他3名の方々がコウノトリ1番いをたずさえて、昭和53年11月10日に来園、日中動物園関係の動物飼育に対する技術交流がなされ、なごやかな内にも大変



貴重な技術交流できたことを記憶にとどめたいと思っております。

又、これらの貴重な動物及び動物園で生活をしている動物達が子孫を増やし、一日でも永生き出来るよう、皆さんの「動物を愛する」「自然を愛する」あたたかい気持ちで見まもってやって下さい。

私が動物園に参ってより27年の歳月の流れに、動物園も園の拡張、充実と美化緑化も進み、四季様々な花で見ちがえるほど発展してきました。これみな公園局からの協力と、動物園で働いておられる皆様方の努力の結晶だと思います。



動物園という所は、私が申すまでもなく、リクリエーションの場であり、動物を保護する使命の場であり、これらの動物の繁殖と研究機関の場であり、これからはますます動物教育の普及の場所となり、内外共に多忙を極めるものと思います。

自他共に、動物園として誇りに思う大阪市天王寺動物園で働かれる皆様方、どうか今迄に園を去られた大先輩達の方々の偉業を受けつがれまして、とこしえに動物園の発展に努力せられますようお願い致します。

(前飼育係長：米田 敏光)

*米田氏は去る4月5日付で定年退職され、27年にも及ぶ動物園勤務を終えられました。

天王寺のどうぶつたち (26)

ヒョウ(上)



迫力あるヒョウの顔

§ 広い地域に住むヒョウ

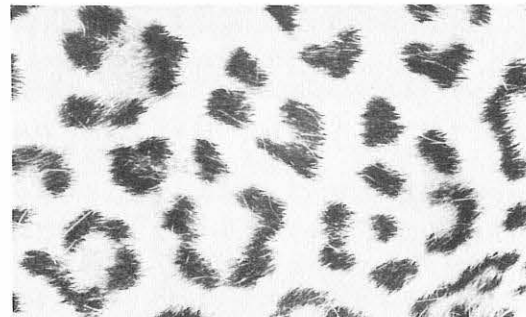
ここ数年、日本人も高度経済成長のおかげでお金持になったせいか、大変な毛皮ブームです。そのおかげか美しい毛皮を持つ野生動物達は大変な迷惑を受けています。特にひどいものひとつがトラで、毛皮を取る為乱獲されて、20年程前は世界中で数万頭もいたのが、現在では5000頭程にまで激減してしまいました。今月お話しするヒョウもトラのように毛皮をとったり敷物にしたりする為、とても多く殺されました。幸いヒョウは大変広い地域で暮らしていること、忍者のように人の目からのがれることが大変上手なことのおかげで、トラ程には減っていませんが、それでも20年位前から比べるとずいぶん少なくなったようです。

ヒョウはネコの仲間ですが、その中でも特にライオンやトラと近縁です。しかし、ライオンはインドのごく一部の地域とアフリカに分布し、トラはアジアの一部と分布地が限られているのに比べ、ヒョウの分布はとても広く、アフリカから、中近東、中央アジア、シベリア、アジアと旧大陸の約3分の2の地域に広く住んでいます。

§ 美しい梅花模様とクロヒョウ

ヒョウの第1の特徴はあの見事な梅花状の斑紋でしょう。しかし、こんなに広くに分布しているので、西のはじめのアフリカのものや東のはじめのアジアのものとを比較すると、斑紋の大きさがちがってきます。アジアに住むヒョウの方が斑紋は大きく、このため英語ではアジアに住むヒョウをパンサー、ア

フリカに住むものをレオパードと呼んで区別しています。また毛皮として重宝がられる程ヒョウの毛皮は美しく、鮮やかなのでよく目立つように思われますが、実はとても見事な保護色で、ヒョウがヤブの中などに入って、じっとしてしまえば周囲の模様



ヒョウ独特の梅花模様

溶け込んでしまえばよほど注意深く探してもまるで判りません。このようにヒョウはかくれていて近づく獲物をとるのですが、こんなにうまくかくれてしまえば人目につかないせいか、テレビなどでも、ライオンやトラが獲物をとるシーンは見られても、ヒョウが獲物をとるシーンは仲々お目にかかれないようです。

みなさん御存知のようにヒョウには真黒な毛を持つクロヒョウがいます。クロヒョウは単に毛の色が黒いというだけで、種類は同じです。クロヒョウは特にインド南部、マレー半島の密林に多いそうで、こんな密林は昼でも暗い所なので黒い方がよけいに身を隠し易いのでこうなったのかも知れません。ま

た普通のヒョウとクロヒョウが同じ種類であるということは母親が産んだ数頭の仔の中に普通のヒョウとクロヒョウが混じることがあるということでもわかると思います。



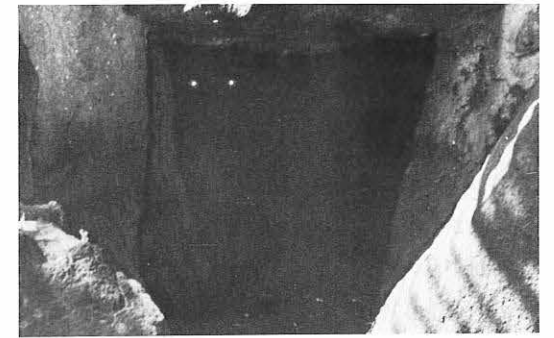
クロヒョウにも梅花模様があります。

黒い毛の方をクロヒョウと呼ぶので、普通の模様を持つヒョウの方はその梅花模様にちなんで、天王寺ではハナヒョウと呼んでいます。今、天王寺にはハナヒョウ、クロヒョウ共、オス、メス、1頭ずつ飼われています。天王寺のハナヒョウのオス、トムの母親はハナヒョウですが、父親はクロヒョウです。そのせいか、トムは母親に比べるとやや黒っぽい毛をしています。またクロヒョウはちょっと見ると全身真黒に見えますが、実はよく見るとやはり黒さに濃淡があり、黒い見事な梅花模様もうかがえます。また、ハナヒョウでもクロヒョウでもその地肌には立派な梅花模様が描かれています。

§ とても役に立つヒョウの尾

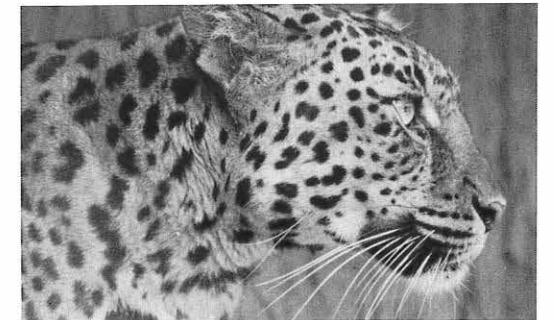
ヒョウのもうひとつの特徴は尾です。ヒョウの仲間であるトラやライオンにも尻尾はありますが、ヒョウ程長くはありません。ヒョウの体長(鼻先から臀端までの長さで、哺乳類の大きさを比べる時の基準になります)は1.4m~1.6m位ですが尾は約1m。つまり体の長さの3分の2位もあります。トラやライオンに比べてヒョウの尾がこんなに長いのはやはりヒョウが樹上で生活することも多いということをよく示していると思います。木の上で獲物を待ち伏せしたり、獲った獲物を木の上にひきあげて食べることがよくあるのです。つまり樹上性のサルのような尾が長いのが長いと同様に、尾はバランスをとるための重要な道具となっているのです。サーカスで綱渡りをする人が長い棒を持っているのと同じです。

尾にはもうひとつ重要な役目があります。それはラジエーターとしての効果です。ヒョウはイヌやネコと同じく体表にはほとんど汗腺が無く、従って汗を



クロヒョウは洞窟に入ると眼以外はわからなくなりましかきません。ですから走ったりして体温が上がるとそれを下げるため、口を開けて呼吸し呼気の中の水分の蒸発によって体温をさげます。その時、体表面積が多いと体重、つまり発熱量あたりの表面積が増えて放熱が容易になるというわけです。この働きはウサギの耳と同様です。

尾の3番目の役割は獲物をとる時にあらわれます。これはライオンなどでも同じですが、物陰にひそんで獲物待つ時、体は地面にベッタリと伏せていても、尾の先端だけはわざと目立つように上げ、しかもピコッ、ピコッと上下あるいは左右に動かします。おそわれる獲物の方はヒョウの体は見えなくてもピコピコ動く尾が目につき、それを危険なものと思わずわけです。つまり本当に危険なヒョウの体よりも



ヒョウの横顔

2m位後にある尾の先端に注意がひきつけられているのです。猛烈なスタートダッシュをかけて獲物におそいかかるヒョウとしてはこの2mはとても有利な距離で、獲物の方があぶないと思って逃げ始めた時、ヒョウの方はすでに2m近付いているというわけです。草原などでヒョウやライオンが狩をする時、尾の先端はこのようにとても重要な働きをします。今度、テレビなどで、こんなシーンがありましたら、是非気を付けて見て下さい。(つづく)

(長瀬 健二郎:飼育課、獣医師)

*居候

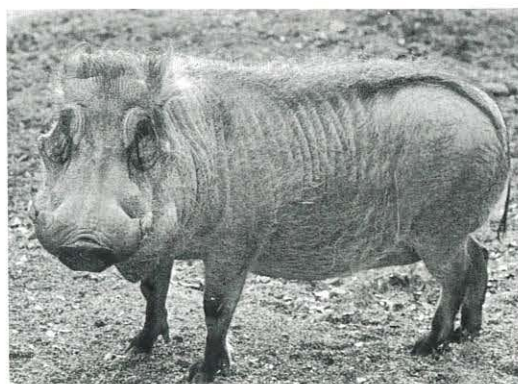
あれは、寒い冬の朝のことだった。私はいつもの様に、オオアリクイの動静を観察しようと、オオアリクイの寝箱に顔を突っ込み、覗き込もうとした途端、何物かが私の頭上を飛び越え、肩の上を走り逃げて行った。私は一瞬度胆を抜かれたが、気を取り直し、逃げて行った方向を見ると、野良猫だった。野良猫も折角、眠っている所を起こされ、不気嫌そうな顔で私を見ている。私がある場所を立ち去ると、また、この野良猫、オオアリクイの寝



箱へもぐり込んで行った。この宿無しの野良猫にとっては、この冬の寒さは苦しく、丁度、暖房完備の絶好の宿を探したものだ。陽が昇り暖かくなると、オオアリクイの後を追って、この野良猫も寝箱から出て来て、オオアリクイの尾にじゃれついたりしてオオアリクイと仲良く遊んでいる。オオアリクイも1頭で淋しかったのか、この居候と仲良く毎日暮している。

(三浦 正明)

*花婿募集



私はワートホッグ、今では日本国内で、私1頭だけになってしまった。そんなに貴重な存在なのに、私を見る多くの人は「みにくい顔してるわ」とか、「面白い顔やな」と自分の顔を棚に上げて笑っているの。私とたいして変らない顔をしているくせに、失礼しちゃうわ!

最愛の夫を7年前に亡くして、それからはひとり寂しく暮しているの。まだまだ老け込む年でもない

し、もう一花も二花も咲かせたいのに国内では花婿候補もないし、と言って外国からは家畜伝染病の関係で日本へ入る事は難しいの。このあいだまで、私の隣に居た日本イノシシなど、私に片想いをしてしつこく言い寄って来たの。それ程私は美人なのよ! それにしても一番腹が立つのは私の説明板に「動物の中で一番みにくい姿をしている」などと書いてあるの、横にいるマレーバクには「可愛いわ」「やさしそう」と入園者がいつも集って言ってるのに、私など殆どの人が通り過ぎていくの。たまに立ち止ったら悪口ばかり言っているわ。そんな私を見て担当者は「おまえはなかなか味のある顔をしている、美人は3日も見ていると飽きるが、おまえは3日もすると慣れる」と慰めてくれるの、早く若くてハンサムな花婿探してきて!

(三浦 正明)

§ ベニジュケイ産卵

先月号のニュースでお知らせしましたように、2月26日のサンケイを初めとしてキジ類の産卵が始まりました。そして4月10日から、待望のベニジュケイが産卵しはじめました。ベニジュケイはメスが2羽いるのですが若い方が4月10、15、17日。年上の方が4月11、15、18、23、28日と合計8卵を現在産んでいます。さっそく孵卵器に入卵しました。昨年は15卵産卵したものすべて無精卵でしたが、今年は有精卵が得られていますので、この号が出る頃、かわいいヒナが誕生しているかも知れません。大いに期待が持たれます。

§ ニホングマの保護

4月11日、ニホングマの子供2頭が保護されてきました。これは前日、滋賀県東浅井郡の伊吹山地内の山林で、伐採に行った営林署の人達が母グマに驚われ



§ 「白雪姫時計」完成



大阪信用金庫の寄贈により、建設が進められていた「白雪姫時計」が5月4日完成し、5月5日のこどもの日に贈呈式と除幕が盛大におこなわれました。この贈呈式には、大阪信用金庫の飯田理事長をはじめ、かわいい

幼稚園児約50名も参加しました。この「白雪姫時計」は、15分毎に正面扉から白雪姫が出て、これに合わせて、小人やウサギ、リスたちも踊ります。(時計台の高さ4.8m、白雪姫の高さ1.2m、小人の高さ77cm、時計の直径60cmが4面にあります)

§ ゾウの目方を計る会

毎年恒例のゾウの目方を計る会が5月5日の子供の日に催されました。今年で28回目の今回は電子計量器で測定しました。当日は



くらしを彩るショッピング

近鉄百貨店
 アベノ店 (06)624-1111・上本町店 (06)779-1231
 東京近鉄 (0422)21-3331

・近鉄百貨店グループ
 大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
 枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

*居候

あれは、寒い冬の朝のことだった。私はいつもの様に、オオアリクイの動静を観察しようと、オオアリクイの寝箱に顔を突っ込み、覗き込もうとした途端、何物かが私の頭上を飛び越え、肩の上を走り逃げて行った。私は一瞬度胆を抜かれたが、気を取り直し、逃げて行った方向を見ると、野良猫だった。野良猫も眼角、眠っている所を起こされ、不気嫌そうな顔で私を見ている。私がある場所を立ち去ると、また、この野良猫、オオアリクイの寝



箱へもぐり込んで行った。この宿無しの野良猫にとっては、この冬の寒さは苦しく、丁度、暖房完備の絶好の宿を探したものだ。陽が昇り暖かくなると、オオアリクイの後を追って、この野良猫も寝箱から出て来て、オオアリクイの尾にじゃれついたりしてオオアリクイと仲良く遊んでいる。オオアリクイも1頭で淋しかったのか、この居候と仲良く毎日暮している。

(三浦 正明)

§ ベニジュケイ産卵

先月号のニュースでお知らせしましたように、2月26日のサンケイを初めとしてキジ類の産卵が始まりました。そして4月10日から、待望のベニジュケイが産卵しはじめました。ベニジュケイはメスが2羽いるのですが若い方が4月10、15、17日。年上の方が4月11、15、18、23、28日と合計8卵を現在産んでいます。さっそく孵卵器に入卵しました。昨年は15卵産卵したもののすべて無精卵でしたが、今年は有精卵が得られていますので、この号が出る頃、かわいいヒナが誕生しているかも知れません。大いに期待が持たれます。

§ ニホングマの保護

4月11日、ニホングマの子供2頭が保護されてきました。これは前日、滋賀県東浅井郡の伊吹山地内の山



林で、伐採に行った営林署の人達が母グマに襲われ、撃退したところ、子供2頭が取り残されていたそうです。営林署の人達では手に余って持ち込まれたわけですが、2頭はオスとメスで推定生後2、3ヶ月。体重はオス1850g、メス1820gでした。なかなかエサを食べず、ミルクをやっても不消化便をし、手こずったのですが、人の赤ちゃん用の果物のベビーフードをやったところ、よく食べ便状もよくなり、とても元気になりました。5月3日現在、オス2650g、メス2700gと体重も増えました。

§ ヨーロッパコウノトリの抱卵

例年多くのヒナをかえしているヨーロッパコウノトリですが、今年も4つの巣で抱卵に入りました。4巣とも月末から抱卵していますが、コウノトリの孵化日数は30日ですので、もう孵化していると思われるのですが、親を驚かせないよう大事をとって観察をひかえています。この号が出る頃にはヒナも大きくなってごらんいただけると思います。

§ 春の動物園まつり

さる4月29日から5月6日まで「春の動物園まつり」が開催されました。期間中、動物の無料相談コーナー、幼稚園児の遊戯、紙しばいと人形劇、ボランティアによる動物ガイドコーナーなどの催物が行われ、また、この期間中、「動物園クリーンキャンペーン」と銘うって動物園の美化運動を展開しました。

§ 「白雪姫時計」完成

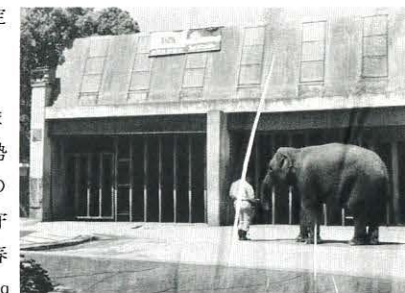


大阪信用金庫の寄贈により、建設が進められていた「白雪姫時計」が5月4日完成し、5月5日のこどもの日に贈呈式と除幕が盛大におこなわれました。この贈呈式には、大阪信用金庫の飯田理事長をはじめ、かわいい

幼稚園児約50名も参加しました。この「白雪姫時計」は、15分毎に正面扉から白雪姫が出て、これに合わせて、小人やウサギ、リスたちも踊ります。(時計台の高さ4.8m、白雪姫の高さ1.2m、小人の高さ77cm、時計の直径60cmが4面にあります)。

§ ゾウの目方を計る会

毎年恒例のゾウの目方を計る会が5月5日の子供の日に催されました。今年で28回目の今回は電子計量器で測定



しました。当日は、ゾウ舎のまわりで大勢の入園者の方々が見守る中で、春子は4080kgと昨年よりも60kgへりましたが、発育盛りのラニーひろ子は昨年よりも180kgふえて2240kgありました。

§ 愛鳥週間にちなむ「ふるさとの鳥展」開催中

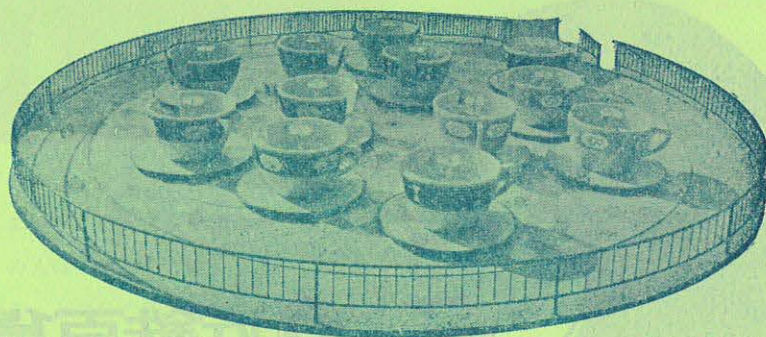
愛鳥週間にちなみ「ふるさとの鳥展」を、5月10日より5月31日まで、北園展示館において開催しています。

これは、各都道府県の指定鳥類の剥製やパネル、写真などを用いて、野鳥に対する理解と愛情を深め、愛鳥思想の普及と高揚をはかるためです。

毎月第3月曜日は休園日です。8月までの休園日は下記の通りです。

5月21日、6月18日、7月16日、8月20日
開園時間は9時半から5時までで、4時半に切符売止めになります。

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹 娛樂 株式会社

本社 工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和54年 5月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

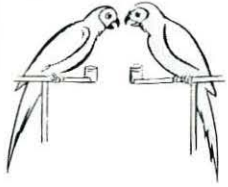
第15巻第5号(通巻165号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

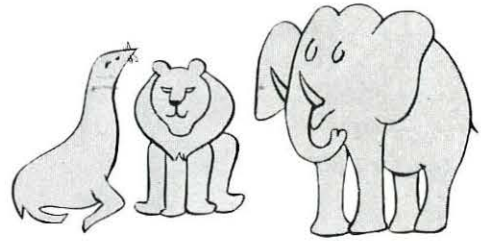
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517

飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130c.c.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・榊原 安昭・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三・農本 武志
 石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・阪谷 文彦・仲谷 登